



令和6年度 6月号
杉並区立高井戸小学校
校長 伊勢 明子

あじさいの花のように

副校長 山田 章浩

爽やかな初夏の季節も終わり、間もなく梅雨の時期となります。「不快指数」という言葉が出始め、分厚い雲に覆われた空とジメジメと蒸し暑い日々が続きます。しかし、この「梅雨」は、私たちにとって欠かすことのできない大切なものです。調べてみると昔から日本人は「雨」を肯定的に捉え、すてきな言葉を作り、残してきました。

穀物の成長や日照りの中に降る恵み雨を表す、瑞雨や慈雨。草木を潤して育てる雨を表す、翠雨や甘雨。雨が日本人の生活に多くの恵みや潤いをもたらしてきたことがよく分かる美しく優しい言葉です。

そして、この梅雨の時期に欠かせない雨の風景を彩るものがあります。それは「あじさい」です。井の頭線の線路沿いにも、紫色やピンク色の花(正確には花ではありませんが、一般的に花と認知されていますので。)をたくさん咲かせ、通勤・通学中の人々の目と心を癒してくれます。最近では、花の形も様々で、私たちを楽しませてくれます。

私は、このあじさいの花が大好きです。(よく「柄にもない」と言われますが・・・)小さな花が身を寄せ合って大きな花となるあじさいが大好きです。担任時代にも、あじさいのように、一人ひとりが力を合わせて大きな花を咲かせ、多くの人々を喜ばせるようなクラスにしたいと常に思っていました。高井戸小では「主体的で対話的で深い学び」の実現に向け、教職員が様々に工夫を凝らした授業をしています。「対話」を通して自分の考えを伝え、自分とは異なる考えを受容しながら、新たな考えを見出したり、新たな取り組みに挑戦したりする子どもたちになってほしいと心から願っています。

「一人ひとりの力は小さいけれど、それを合わせれば、大きな花となる！」あじさいの花のような子どもたち、学校にしていきたいと思っています。6月末の6年生の移動教室・・・この3日間だけは、お天気に恵まれますように・・・。

6月の生活目標 『相手の顔を見てあいさつしよう』 生活指導部 岡本 英恵

先月は「安全に」や「きまりを守って」ということがテーマでした。最近は少しずつ、校外学習に出かける学年が増えてきています。子どもたちは、道の歩き方、電車の歩き方を事前にしっかりと学習をしてから出かけています。当日は学習したことを意識して、公共のマナーを守っている姿が見られたり、「すごく電車の乗り方が上手ね。」と声をかけてもらえたりしたそうです。この経験を校内でも続けていけるように、声をかけていきます。

一方で、学習に関係のないものを学校に持ってきている子どもが見受けられます。特に、ランドセルのベルトにさまざまなものを着けている子がおり、自転車などに引っ掛けられて思わぬ事故に遭うかもしれないと、子どもたちに話しています。今一度ご家庭におかれましては、子どもたちの持ち物について話し合っただけたらと思います。

今月は、「相手の顔を見てあいさつをしよう」です。4月の目標よりもさらにレベルアップしたあいさつができるように、意識して生活していきたいと思っています。

